



タンポポのように、

自ら育つ子どもを目指して

（令和八年度の取組）

校長 山本 郁雄

地域のあちらこちらで、タンポポがきれいな黄色い花を咲かせています。本校は「タンポポ学校」という愛称で親しまれています。タンポポはどのような場所でもしっかりと根を張り、やがて花を咲かせ、風にのって種を広げていきます。そのたくましさややさしさは、これからの時代を生きる子どもたちの姿と重なるものがあります。

さて、学校教育の大きな目的は、子どもたちの「自立」にあります。自ら考え、判断し、他者と関わりながら、自分の力で未来を切り拓いていく力を育てること―それが私たちの目指す教育です。令和八年度の新潟小学校では、この「自立」を支えるための教育活動の柱として、「深い学び」「協働的な活動」「適切な支援」の三つを大切にしています。

まず「深い学び」です。知識を身に付けるだけでなく、「なぜだろう」「どうしてそうなるのだろう」と問いをもち、自ら考え続ける学びを重視します。自分の言葉で説明し、納得しながら学ぶ経験が、確かな力として積み重なり、自ら飛び立っていく力となります。

次に「協働的な活動」です。友達と意

見を交わし、共に考える中で、自分とは異なる見方や考え方に会います。互いを認め合いながら学び合う経験は、人と関わりながら生きていく力、すなわち自立の基盤を育てます。

そして「適切な支援」です。子どもたちは一人ひとり異なるよさや課題をもっています。それぞれに応じた支援を行うとで、自分らしく伸びていくことを支えます。

「家庭の教えで芽が出て、学校の教えで花が咲き、地域の教えで実がなる」と言われるように、子どもたちの成長は家庭・学校・地域のつながりの中でこそ豊かに育まれます。本年度も、保護者や地域の皆様と力を合わせながら、子どもたち一人ひとりのよさを大切にし、自立へとつながる教育を着実に進めてまいります。

子どもたちがタンポポのようにしっかりと根を張り、自分の力で花を咲かせ、未来へと力強く歩んでいけるよう、本年度の教育活動を進めてまいります。保護者や地域の皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。